



## 平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月9日

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ  
 コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石原 智美  
 (氏名) 小杉 裕之

TEL 03-6419-2500

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年7月期第1四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	7,174	△0.4	1,167	△16.7	1,176	△17.2	714	△19.0
25年7月期第1四半期	7,202	△7.2	1,401	△33.3	1,421	△32.5	882	△29.4

(注) 包括利益 26年7月期第1四半期 713百万円 (△19.0%) 25年7月期第1四半期 880百万円 (△28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	2,868.20	—
25年7月期第1四半期	3,543.33	3,542.81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第1四半期	22,581	18,855	83.5	75,643.41
25年7月期	23,851	20,136	84.4	80,779.17

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 18,855百万円 25年7月期 20,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	—	—	8,000.00	8,000.00
26年7月期	—	—	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	81.00	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年1月31日を基準日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行います。平成26年7月期(予想)の年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

### 3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,400	4.6	4,100	7.2	4,100	4.0	2,500	2.1	10,029.16
通期	36,800	8.3	8,400	10.7	8,400	7.6	5,100	6.5	20,459.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3、2.(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3、2.(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年7月期1Q	254,273 株	25年7月期	254,273 株
----------	-----------	--------	-----------

- ② 期末自己株式数

26年7月期1Q	5,000 株	25年7月期	5,000 株
----------	---------	--------	---------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年7月期1Q	249,273 株	25年7月期1Q	249,191 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P.3、1.(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(追加情報) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策による雇用及び所得環境の改善や東京オリンピック開催決定による国内インフラ整備に伴う景気回復に対する期待感が醸成されるものとなりました。

このような環境の中、当社グループは第四次中期経営計画スタートの重要な施策となるアクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEXのリニューアルに備え、全社横断的に施策を実施したほか、商品ラインの拡充を図る活動を行ってまいりました。

販路別に見ますと、通信販売においては、休眠顧客の再購入者数が前年と比較すると増加しており、売上高の回復に向けた前向きな傾向が見え始めた一方で、アクアコラーゲンゲル美白のプロモーションを積極的に行うことで新規顧客の獲得を図りましたが、お客様のご購入までの引き上げに時間を要し、第1四半期中に十分な成果を上げるには至らず、新規顧客のご購入は限定的なものとなりました。また、健康食品は引き続き好調を維持しており、顧客層の拡大に貢献をしている一方で、健康食品の単品購入も多く、購入単価の減少傾向が見られました。以上により、通信販売の売上高は、4,636百万円となり、前年同期と比較して8.4%減少いたしました。

対面型販売では、販売員のカウンセリング技術を高めることによるお客様へのサービスの向上を図るべく、教育体制を強化し、販売体制の底上げを着実にっております。しかしながら、対面型においては、大きなプロモーションを行わなかったことも影響し、売上高は832百万円、前年同期と比較して、9.7%減少いたしました。なお、出店、閉店につきましては、百貨店内カウンターを1店舗閉店した一方、GMS内カウンターを1店舗開店しております。

卸売販売においては、健康食品の出荷増加に加え、テレビショッピングチャンネルのQVCの売上高が好調に推移しております。更に、アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEXの11月リニューアルに向けた販売店等への説明会での反響が大きく、当該商品の初期出荷が好調だったことにより、売上高は大きく伸長いたしました。以上により、卸売販売の売上高は1,567百万円となり、前年同期と比較して44.3%増加いたしました。

海外においては、香港が堅調に推移し、台湾の販売状況も改善の兆しが見えているものの、これまで好調に推移していた韓国において、放射能汚染水漏水が韓国国内で問題視され、販売代理店への輸出額が大幅に減少したことが影響し、海外事業の売上高は、138百万円となり、前年同期と比較して2.9%増加にとどまりました。

利益面では、卸売販売や健康食品の売上構成が増加したことにより、全社的な売上総利益率が前年同期と比較して、1.8%低下いたしました。また新コンタクトセンターの立ち上げに伴う設備関連費用、オペレーターへの研修に関連する費用など将来の拡大に向けた投資的な費用を計上したことにより、固定費が増加いたしました。更にアクアコラーゲンゲル美白に関わる積極的なプロモーションを主因として、広告宣伝費が増加しております。上記のことを主因として営業利益率は、3.2%低下いたしました。

以上により、売上高は7,174百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益は1,176百万円（前年同期比17.2%減）、当期純利益は714百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、下記のとおりです。

#### <化粧品事業>

化粧品事業においては、アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEXのリニューアルに向けた施策を中心に事業を推進しました。リニューアルによる改良点などを分かりやすく訴求することで、通信販売における先行発売や販売代理店への初期出荷が好調に推移いたしました。一方で、アクアコラーゲンゲル美白に関しては、積極的なプロモーション活動を行ったものの、お客様のご購入までの引き上げに時間を要し、通信販売における新規顧客の獲得などによる大きな拡販にはつながりませんでした。ラボラポブランドにおいては、有力ドラッグストアとの共同開発商品の開発を引き続き積極的に行い、売上高の向上につながっております。ジェノマーブランドにおいては、販促施策や新商品の発売などが無かったことにより、百貨店カウンターなどでの販売が伸長せず、前年同期の実績を下回る結果となりました。

以上により、化粧品事業の売上高は6,324百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は980百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

#### <健康食品事業>

健康食品事業においては、卸売販売にも販路を広げている美禅食や前期にリニューアル発売をした青汁の販売が好調に推移し、売上高が大きく伸長しました。特に美禅食は通信販売での販売に加え、QVCや卸売販路での販売も好調に推移し、更なる売上高の向上を期待できる状況であります。

以上により、健康食品事業の売上高は850百万円（前年同期比48.0%増）、営業利益は186百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は、前連結会計年度末と比較して1,270百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払い及び法人税

等の支払いに伴い現預金が1,360百万円減少したことにあります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して10百万円増加いたしました。これは主に法人税等の支払いにより未払法人税等が590百万円減少した一方、アクラカラーゲンゲルエンリッチリフトEXの拡販に合わせ、製造を増加させたことにより買掛金が298百万円増加したことにあります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,280百万円減少しました。これは、当第1四半期連結会計期間純利益714百万円を計上した一方、配当金による剰余金の処分1,994百万円を行ったことにより、剰余金が1,279百万円減少したことにあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月10日に発表しました連結業績予想は変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,481,670	12,121,550
売掛金	3,483,476	3,162,211
有価証券	251,185	251,216
商品及び製品	1,839,659	1,833,373
原材料及び貯蔵品	1,275,896	1,436,842
その他	602,541	921,803
貸倒引当金	△123,539	△130,573
流動資産合計	20,810,890	19,596,424
固定資産		
有形固定資産		
建物	267,963	752,083
減価償却累計額	△174,138	△258,999
建物（純額）	93,825	493,084
工具、器具及び備品	1,205,033	1,258,165
減価償却累計額	△955,365	△981,240
工具、器具及び備品（純額）	249,667	276,924
土地	—	1,315,697
その他	314,098	103,564
減価償却累計額	△15,936	△23,411
その他（純額）	298,162	80,152
有形固定資産合計	641,655	2,165,859
無形固定資産		
ソフトウェア	463,023	424,004
その他	27,407	26,911
無形固定資産合計	490,431	450,916
投資その他の資産		
投資不動産	1,628,634	—
減価償却累計額	△83,250	—
投資不動産（純額）	1,545,384	—
その他	362,864	367,873
投資その他の資産合計	1,908,248	367,873
固定資産合計	3,040,335	2,984,649
資産合計	23,851,225	22,581,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	439,960	738,226
未払金	1,566,860	1,383,758
未払法人税等	1,064,274	473,433
賞与引当金	78,522	206,509
ポイント引当金	110,883	117,183
その他	230,938	580,711
流動負債合計	3,491,439	3,499,822
固定負債		
退職給付引当金	112,446	114,280
その他	111,273	111,111
固定負債合計	223,719	225,391
負債合計	3,715,159	3,725,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209,208	1,209,208
資本剰余金	1,686,608	1,686,608
利益剰余金	18,603,426	17,324,208
自己株式	△1,354,566	△1,354,566
株主資本合計	20,144,677	18,865,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,128	6,950
為替換算調整勘定	△15,739	△16,549
その他の包括利益累計額合計	△8,610	△9,598
純資産合計	20,136,066	18,855,860
負債純資産合計	23,851,225	22,581,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	7,202,963	7,174,627
売上原価	1,160,662	1,283,683
売上総利益	6,042,300	5,890,944
販売費及び一般管理費	4,640,666	4,723,766
営業利益	1,401,634	1,167,177
営業外収益		
受取利息	948	1,154
受取配当金	49	38
為替差益	10,783	1,559
受取手数料	2,845	2,608
商品破損受取賠償金	1,739	1,331
その他	5,700	3,135
営業外収益合計	22,066	9,826
営業外費用		
支払利息	261	223
減価償却費	1,691	—
その他	—	45
営業外費用合計	1,953	268
経常利益	1,421,747	1,176,736
特別利益		
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産除却損	1,821	483
特別損失合計	1,821	483
税金等調整前四半期純利益	1,419,947	1,176,253
法人税等	536,980	461,287
少数株主損益調整前四半期純利益	882,966	714,965
少数株主利益	—	—
四半期純利益	882,966	714,965



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	882,966	714,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,859	△177
為替換算調整勘定	△4,643	△809
その他の包括利益合計	△2,784	△987
四半期包括利益	880,182	713,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880,182	713,977
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

当第1四半期連結会計年度において投資不動産1,543,730千円(帳簿価額)を、保有目的の変更により建物226,938千円(帳簿価額)、土地1,315,697千円、その他1,093千円(帳簿価額)に振り替えております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品事業	健康食品事業	四半期連結損益計算書 計上額
売上高	6,628,558	574,404	7,202,963
外部顧客への売上高	6,628,558	574,404	7,202,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	6,628,558	574,404	7,202,963
セグメント利益	1,261,743	139,890	1,401,634

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品事業	健康食品事業	四半期連結損益計算書 計上額
売上高	6,324,624	850,003	7,174,627
外部顧客への売上高	6,324,624	850,003	7,174,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	6,324,624	850,003	7,174,627
セグメント利益	980,916	186,261	1,167,177

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、健康食品事業の売上高及び利益が全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報の記載を省略しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より売上高及び利益の健康食品事業の開示情報としての重要性が増したため、「報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報」を記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。